

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今後も地域住民の協力を得ながら避難訓練などを実施していくことが必要である。	日頃より地域の方と連携を図りながらホームの災害時対策に関する理解を求め、協力体制を築いていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との避難訓練の実施に向け、今後も運営推進会議等でホームの防災対策や課題等について話し合う機会をもち、意見を頂いたり協力をお願いする。 ・瀬戸自主防災組織の会合時には出席し、災害時にはどのような対応や協力が可能であるか、相互の協力体制について確認し合う。また自治会の消防訓練に参加したり、地域の方にホームの避難訓練への参加協力をお願いする。 	10ヶ月
2	35	災害時の備蓄品を検討すると共に、入居者の基本情報をすぐ持ち出せるような防災対策が必要である。	災害時用の食料品・備品などを備蓄すると共に、利用者の諸情報も整備し万一の災害に備えた防災対策をとっておく。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要となる備蓄品を検討し準備する。 ・現在備えている防災袋の中身についても再度検討する。災害時に備えて利用者の諸情報(薬の処方箋等)も追加し、いつでも参照できるようにしておく。 	8ヶ月
3	2	今後も地域の高齢者の暮らしに役立つことはないか話し合い、取り組んでいくことが必要である。	利用者のプライバシーについて十分配慮しながら、事業所が少しずつ積み上げている支援に関する知識や実践経験を地域の人々に向けて活かしていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラバンメイトの取り組みとして自治会や自治体事務局に相談したり協力を得ながら、地域の方を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催していく。 ・今後もオープンデーを継続したり、広報紙に情報を掲載し地域の相談窓口になる等、認知症の方への接し方や理解を深めていただけるような取り組みを行っていく。 	10ヶ月
4	40	ご本人の行きたい場所や、外食や喫茶など特別な楽しみとなる外出の機会を増やしていくことが必要である。	利用者やご家族の希望を取り入れ、一人ひとりの方が外出を楽しめる支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの方の希望を把握し、月初めに外出計画を立てて対応していく。 ・面会時や毎月の便りを通じて外出についてご家族と相談したりご協力をお願いをする。また、ご家族との外出時にはホームとして出来ることは進んで協力していく。 ・外出表を活用し身体状況に配慮しながら満遍なく気分転換を図っていけるよう支援する。 	10ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。